

平成31年度 下水道河川部 業務計画

基本理念 4	人々が行きかい 自然と共生する便利で快適な まちづくり
政策目標 1 3	快適な水環境が守られるまち

1 平成31年度における部局の経営方針

安定的かつ効率的な経営を目指し、より一層の経営基盤強化を図ります。

日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす下水道の老朽化による事故や機能停止を未然に防ぐため、ストックマネジメント手法を導入した茅ヶ崎市公共下水道施設維持管理計画に基づき計画的・効率的な改築事業を推進します。

雨水整備については、浸水の少ない安全なまちづくりに向けて、緊急度を考慮し、雨水排除能力の確保に加えて、面的な対策である貯留・浸透などの流出抑制対策を含めた方策を検討し、計画的に整備を行います。

汚水整備については、生活環境の改善をするとともに、河川や海などの公共用水域の水質を保全し、健全な水環境を守るという役割を担う重要な都市基盤であることを認識し、快適環境都市づくりに向けて計画的に整備を行います。

河川整備については、治水を基本としながら、条件の整った区域では、親しみやすい水辺空間を創造することで、川辺の自然とふれあいを通じた心豊かな暮らしの実現に向けて計画的に整備を行います。

職員が業務に誇りと使命感を持ち、積極的に事業を遂行できる職場環境を作ります。

2 平成31年度業務の目指すべき方向性と重点事項

健全経営のための予算編成と執行計画の策定を行います。

下水道使用料及び受益者負担金を適正に賦課・徴収することで自主財源を着実に確保します。

柳島ポンプ場は供用開始より40年以上が経過しており、機器の耐用年数を超過し劣化進行が著しいことから、27年度より5カ年計画で詳細設計および更新工事を実施する等、31年度末までに改築事業の完了を目指します。

「茅ヶ崎市公共下水道施設維持管理計画」に基づき、予防保全型の維持管理を行うことで、下水道サービスを持続的に提供するとともに、長寿命化事業を推進し、ライフサイクルコストの最小化を図ります。

浸水の軽減を図るため、萩園、平太夫新田、中島、円蔵、赤松町、矢畑地区等の雨水整備を行います。

市街化区域における未整備区域の解消に向け、富士見町地内等の汚水整備を行います。

千ノ川整備実施計画に基づき、相模線橋梁下流側の矢畑地内において河川拡幅工事を行います。

平成32年度までを計画期間とする下水道整備計画について、次の10年を見据えた見直し作業を行います。